

# 地域の宝さがし

## ◆事業の目的

新しい生活様式での地域づくりを推進し、地域の活性化を図るため、地域にある資源を洗い出し、地域内外へ情報発信等を行うことで、新型コロナウイルス収束後の地域づくりの取組みを支援します。

## ◆補助対象事業

新しい生活様式での地域づくりを推進し、地域の活性化を図るため、地域にある資源を洗い出し、地域内外へ情報発信等を行う地域づくりの取組み。

### 【留意点】

補助対象事業は、次のような取組みである必要があります。

- ・取組内容が非営利活動であり、公益上の目的があること
- ・地域資源を洗い出す際は、地域の意見を聞く等、一緒になって活動すること
- ・取組内容がメディア等を活用した広報のみのものでないこと

## ◆事業実施者

### ●地域団体等

例：地域づくり団体、地域コミュニティ組織、NPO法人、福祉・商工・農林水産・文化関係団体、地域づくり団体等で構成する実行委員会・協議会等

## ◆補助種別・補助率・補助上限額等

事業実施者	補助種別	補助率	補助上限
地域団体等	ソフト事業	補助対象経費の3/4以内	2,000千円

ICT（情報通信技術）を活用する場合は、1,000千円を限度に補助上限額の上乗せを行います（事業の内容がICT活用経費のみである場合も対象となります）。〔計算方法はP17を参照〕

## ◆補助対象経費

補助対象事業実施に要する経費。

### 【参考：ICT活用にかかる補助対象経費例】

- ・情報システム開発費
- ・ソフトウェア購入費
- ・ICT利活用実践人材づくりに必要となる人材招へいや研修の経費

なお、次の経費は除きます。

- ・団体の組織や施設の運営に要する経費
- ・飲食に要する経費
- ・出資、出捐、貸付に要する経費
- ・土地の取得、賃借、補償に要する経費
- ・建物等の構造物の新築、増築、改修及び取得に要する経費
- ・備品の取得をする場合の登記、登録、保険等の諸経費
- ・その他、知事が不適当と認める経費

**【補助対象事業に収入がある場合の取扱い】**

補助対象事業に、試作品販売、参加料等による事業収入がある場合は、補助対象経費からこれらの収入を控除した金額に補助率をかけて補助金額を算出します。

ただし、自己資金が500千円に満たない場合には、補助金等によってまかなわれる部分以外の部分（補助裏）として、500千円を限度に事業収入を自己資金扱いにできます。

## ◆審査の視点

- (1) 創意・工夫があるか
- (2) 事業の企画・実施の段階で、地域住民や関係団体等の参加や連携が図られようとしているか
- (3) 事業内容が一過性のものでなく、今後の事業の継続、発展性、広域的な広がりが期待できるか
- (4) 新型コロナウイルス感染による自粛等により停滞した地域の活性化や新しい生活様式に対応する事業であるか など

## ◆補助対象事業例

以下に示す事業例は、補助対象事業となる全てではなく、また、これらをそのまま、あるいは手直しして申請しても必ずしも採択されるものではありません。

- (1) 年間曆を作成し、地域内外への情報発信
  - ・地域資源（食べ物、自然、体験など）を洗い出し、年間曆をポスターとしてまとめて、地域内外へ情報発信する取組みなど